

令和5年度 健康部の運営方針

部	健康部	部長	田中 徹
---	-----	----	------

【基本方針】

「地域のつながりの中で、いつまでも健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。目標を達成するため、誰もが、身近な地域で、生涯を通じて健康に不安なく、自立して暮らすことができるまちを目指し、コロナ禍の影響で、弱くなった地域力の復活を図り、高齢者福祉の増進と健康寿命の延伸、健康づくり等の課題に対し、部内のみならず他部署との連携も強化して総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	医療・保健	令和5年度 達成状況
	新型コロナウイルスワクチン接種を始めとする予防接種事業の推進					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和5年度 達成状況
	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進					A
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和5年度 達成状況
	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進					A
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和5年度 達成状況
	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和5年度 達成状況
	国民健康保険事業の健全な運営の推進					B

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	健康部
---	-----

重点目標 1	新型コロナウイルスワクチン接種を始めとする予防接種事業の推進
--------	--------------------------------

今年度の達成目標
新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する市民が円滑に接種できる体制を整え、接種を促進します。



達成状況	達成度
新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、柏原市医師会と連携し、希望する市民が円滑に接種できる体制を構築することができ、接種の促進に寄与することができました。 なお、努力義務規定のある65歳以上の接種率は春開始接種で55.0%、秋開始接種で52.4%でした。	A 達成

今年度の達成目標
子宮頸がんワクチン接種における9価ワクチン定期接種化の周知や令和6年度が終期となるキャッチアップ接種を促進するとともに、同じく令和6年度終期の風しん第5期定期接種を促進します。



達成状況	達成度
各予防接種の促進には差異がありましたが、周知については、当初の計画どおり実施できました。 なお、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の接種率は令和4年度末から4.0%上昇し45.4%、風しん第5期抗体検査の受検率は1.7%上昇し29.2%となりました。	A 達成



具体的取組
新型コロナウイルスワクチン接種の個別接種において円滑に接種が進むよう、適切な情報提供を行うとともに、適切な時期に接種対象者に接種券を送付します。



具体的な取組実績
令和5年度は重症化リスクの高い高齢者への接種を中心とした春開始接種と生後6カ月以上のすべての方を対象とした秋開始接種を実施しましたが、いずれの接種においても接種時の混乱を防ぐため、接種券の送付を段階的に実施するとともに、柏原市医師会と連携して周知に努めることで、円滑な接種に促進に取り組みました。

所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
各予防接種について円滑な接種が進むよう、適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて個別通知などの接種勧奨を行います。	
所管室・課	健康づくり課



具体的な取組実績
子宮頸がんワクチンの9価ワクチンの定期接種化および風しん第5期抗体検査を始めとする各予防接種の周知につきましては、広報誌や市ウェブサイト、公式SNSを中心に周知を図りました。特に風しん第5期抗体検査では個別通知ハガキも活用し、接種勧奨に努めました。

総合評価・総括
新型コロナウイルスワクチン接種を始め、各予防接種の実施につきましては、柏原市医師会等の協力により円滑に推進することができました。ただし、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種では新たに対象となった高校2年生相当の方に、風しん第5期抗体検査では未受検者に対し個別勧奨を行いました。接種率や受検率に大きく寄与できなかったことから、個別勧奨の方法等に検討の余地がある結果となりました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
令和6年度は子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種と風しん第5期抗体検査実施の最終年度となることに加え、新型コロナウイルスワクチン接種が定期接種化されますことから、個別勧奨を含めた周知方法に新たな手法を取り入れるなどの検討が必要であると考えています。

部	健康部
---	-----

重点目標 2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進
---------------	--------------------------------

今年度の達成目標
健康づくりプロジェクトチームによる健康づくり事業の啓発や取組を充実させます。



達成状況	達成度
健康づくりロゴマークでは、今後の事業に活用できるTシャツなどの啓発グッズを作成することができ、コミュニティ会館を活用した耳活フィットネスでは80名の参加があり、インターネット環境を活用することで、通常の健康教室の定員を大きく超える方に参加してもらうことができました。	A 達成

今年度の達成目標
歯科口腔ケア事業の推進について、70歳で健康な歯を24本以上有している市民を増やすため、歯周疾患検診における「7024コンクール」を実施します。



達成状況	達成度
歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に向けた取組として、柏原市歯科医師会と協働で「柏原市良い歯の7024コンクール」を実施し、7名の受賞者を表彰することができました。	A 達成



具体的取組
健康づくりプロジェクトチームにおいて、大阪教育大学と協働で健康づくりに関するシンボルマークの作成や地域のコミュニティ会館を活用した健康教室を開催することで、市民の主体的な健康づくりを支援します。



具体的な取組実績
健康づくりプロジェクトチームにおいて、大阪教育大学との協働による健康づくりロゴマークの作成や関西福祉科学大学および㈱オトバンクと協働でコミュニティ会館を活用した耳活フィットネスを実施するなど、産学官協働による新たな健康づくり事業を実施することにより、市民の主体的な健康づくりに取り組みました。

所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
柏原市歯科医師会と協働し、歯周疾患検診を受診された70歳の市民から健康な歯を24本以上有している方を推薦いただき、それらの方を表彰することで歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に取り組めます。	
所管室・課	健康づくり課



具体的な取組実績
柏原市歯科医師会と協働で「柏原市良い歯の7024コンクール」を開催し、国が推進する8020運動に先駆け、70歳で24本以上の健康な歯をお持ちの高齢者を表彰することで、歯科口腔ケアの推進と歯周疾患検診の受診率向上に取り組めました。

総合評価・総括
健康づくりプロジェクトチームによる事業では新たな健康づくり事業の実施に加え、地域コミュニティの活性化といった部局横断的な課題への取組にも寄与することができました。また、当課の健康増進事業では歯周疾患検診をはじめとする各検診事業について、歯科医師会や医師会など三師会との連携により受診率の向上に取り組むことができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
健康づくりプロジェクトチームによる事業では引き続き部局横断的な課題の解決に資する取組を検討してまいります。また、当課の健康増進事業では、ヘルスリテラシーの向上や主体的な健康づくりの推進に資する新たな取組を検討いたします。

部	健康部
---	-----

重点目標 3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
高齢者の徘徊時に早期発見を可能とするための支援を拡充します。



達成状況	達成度
高齢者の徘徊時の早期発見の一助となるように、QRコード付きシールを徘徊の可能性のある30名へ配布しました。	A 達成

今年度の達成目標
緊急通報システムの利用者数を増加します。



達成状況	達成度
緊急通報システムの利用者数が前年度の634名に対し、今年度は667名と増加しました。	A 達成



具体的取組
認知症やその疑いのある高齢者など、徘徊の可能性のある方へ、市役所や警察など関係機関の連絡先が分かるQRコード付きシールの配布を行います。



具体的な取組実績
市や地域包括支援センターにおける認知症に関する相談対応時や、徘徊等で警察に保護された時などにQRコード付きシールの説明・案内を行いました。

所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
固定電話に設置する緊急通報装置が使用できない方のために、携帯電話回線を利用した緊急通報装置を新たに導入するとともに普及を図ります。	
所管室・課	高齢介護課



具体的な取組実績
携帯電話回線を利用した緊急通報装置を導入し、広報かしわらや民生委員の会議を通じて、緊急通報装置の周知・普及を行いました。

総合評価・総括
地域包括支援センター、警察署、民生・児童委員協議会等の関係機関の協力を得て、QRコード付きシール及び緊急通報装置について一定の周知・普及が図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
今後もQRコード付きシールや緊急通報装置等の高齢者の見守りに関する事業のさらなる周知・普及を図り、少しでも多くの高齢者がいつまでも住み慣れた環境で安全に生活ができる環境づくりに努めます。

部	健康部
---	-----

重点目標 4 高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備

今年度の達成目標	達成状況	達成度
短期集中予防サービスの利用者数の増加を図ります。	短期集中予防サービスの利用者は、前年度27名に対し、今年度は52名と増加しました。	A 達成
今年度の達成目標	達成状況	達成度
介護予防活動に取り組む高齢者の増加を図ります。	介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業に参加された高齢者の数は前年度の707名に対し、今年度は875名となりました。	A 達成

具体的取組	具体的な取組実績
住民や介護関係者に対する講演会、自立支援型地域ケア会議を開催し、短期集中予防サービスの周知・普及を行います。	住民向けに介護予防に関する講演会を開催し、123名の参加がありました。ケアマネージャーやデイサービス事業者等の介護関係者向けに研修会や自立支援型地域ケア会議を開催し、79名の参加がありました。それぞれを通じて、短期集中予防サービスの周知・普及を行いました。
所管室・課 高齢介護課	
具体的取組	具体的な取組実績
地域包括支援センターと連携を図り、介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の高齢者への案内の周知を強化します。	高齢者からの介護予防活動に関する相談時や介護関係者等が参画する会議開催時に介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の案内を積極的に実施しました。
所管室・課 高齢介護課	

総合評価・総括
短期集中予防サービスについて、サービスを受ける住民、サービスの提供を行う介護関係者への講演会や会議を通じて、サービスが浸透に繋がり、利用者数が増加し、当該利用者の生活課題の解決や身体機能の向上を図ることができました。そして、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ移行したこともあり、地域の会館や集会所で行う活動やボランティア活動に対する高齢者の関心が高まり、介護予防活動に取り組む高齢者数が増加しました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
短期集中予防サービスの周知・啓発を図るため、引き続き、介護関係者、柏原市民への継続した本サービスの周知を行います。 高齢者が要介護状態に陥らないようにするために、介護予防活動に取り組む高齢者が活動の動機付けとなる介護予防ポイント事業やボランティアポイント事業の更なる充実を図ります。

部	健康部
---	-----

重点目標 5	国民健康保険事業の健全な運営の推進
--------	-------------------

今年度の達成目標
被保険者の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診の受診率向上を図ります。



達成状況	達成度
令和5年度の特定健診の受診率は、令和6年4月末時点の集計で37.9%と前年同時期の37.6%を上回りました。	A 達成

今年度の達成目標
国民健康保険財政の健全な運営を推進するため、保険料の収納率向上を図ります。



達成状況	達成度
令和5年度最終の収納率については、出納閉鎖後に確定しますが、令和6年4月末時点で93.10%と前年同時期の93.81%をわずかに下回っています。出納閉鎖まで少しでも収納率向上のため、今後も収納の確保に努めます。	B 概ね達成



具体的取組	
特定健診などの受診勧奨を行い、未受診者対策を実施します。	
所管室・課	保険年金課



具体的な取組実績
特定健診などの受診について、広報誌やウェブサイト等にて周知啓発を図りました。また、特定健診未受診者に特定健診などを受診勧奨するハガキを年2回、合計約12,000通送付しました。更に、電話・訪問での受診勧奨も実施しました。

具体的取組	
納付相談の機会を増やします。また滞納処分を適切に実施します。	
所管室・課	保険年金課



具体的な取組実績
催告書の送付や納付忘れを防ぐためのSMS（ショートメールサービス）の配信による納付勧奨を行いました。また、預金などの差押えを177件実施しました。

総合評価・総括
特定健診の受診率が向上したことで、より多くの被保険者の生活習慣病の発症や重症化の予防に資することができました。また、保険料の収納率は前年度を僅かに下回りましたが、国保財政の健全化と保険料を納期限内に納付されている方との公平性の確保を図ることができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
特定健診の受診行動を起こすためには、医師や看護師からの受診勧奨が最も効果的であるといわれていることから、今後も柏原市医師会と連携する等、受診勧奨の取組を検討していきます。また、収納率の向上について、他市の好事例の情報収集に努めてまいります。